2024年度 学習指導計画表 長尾谷高等学校

〔科目名: 数学 I 〕 〔単位数:2単位〕 〔使用教科書:実教出版高校数学 I 〕 〔 使 用 副 読 本 : 〕

学	授業回	項目	教 科 書		副読本	
期	1又未凹		内容	ページ	ページ	前/後
		1章 数と式	文字を使った式のきまり	10~15		
	1	整式	整式の加法・減法	16~21		
			乗法公式による展開	22~24		
	2	1章 数と式	因数分解	25~30		
	_	整式				
	3	1章 数と式	平方根とその計算	32~35		
	3	実数	実数	36~40		前
		1章 数と式	1次方程式	42~43		
	4	方程式と不等式	1次不等式	43~49		半
			連立不等式	50		
	5	2章 2次関数	1次関数とそのグラフ	56~59		
		関数とグラフ	2次関数とそのグラフ	60~73		_
前		2章 2次関数	2次関数の最大値・最小値	75~78		
	6	2次関数の値の変化	2次関数のグラフと2次方程式	79~81		
			2次関数のグラフと2次不等式	82~86		
	7	3章 三角比	三角形、三角比	90~95		
		三角比	三角比の利用	96~97		
445			三角比の相互関係	98~100		
期		3章 三角比	三角比の拡張	102~106		
	8	三角比の応用	三角形の面積	107		
			正弦定理、余弦定理	108~115		
		4章 集合と論証	集合と要素	120~122		後
	9	集合と論証	命題	1 2 3 ~ 1 2 7		12
			いろいろな証明方法	128		半
		5章 データの分析	統計とグラフ、度数分布表	134~139		+
	10	データの分析	代表値、データの散らばり	1 4 0 ~ 1 4 7		
			相関係数	148		
	11					
	12					
	12					

レポート						
前/後		課題内容	締切日			
	1	文字を使った式のきまり整式の加法・減法				
前半	2	整式の加法・減法 乗法公式による展開 因数分解	5/9			
	3	平方根とその計算 実数 1次方程式 1次不等式				
	4	1次関数2次関数とそのグラフ2次関数のグラフ2次方程式2次不等式				
後半	5	三角比 三角比の利用 三角比の相互関係 三角形の面積 正弦定理、余弦定理	6/6			
	6	集合と要素 命題 代表値、データの散らばり				

2024年度 学習指導計画表

長尾谷高等学校

〔科目名: 数学Ⅱa 〕〔単位数:2単位〕〔使用教科書:高校数学Ⅱ 〕〔使用副読本:指導者作成教材 〕

学	授業回	項目	教 科 書	副読本	
期	汉未凸	(大口)	内容	ページ	ページ
	1	式の計算	整式の乗法	10~13	
	1		因数分解		
	2	式の計算	二項定理	14~18	
	۷		分数式		
	3	複素数と2次方程式	複素数	20~25	
	5		2次方程式		
	4	複素数と2次方程式	解と係数の関係	26~28	
	۲				
	5	高次方程式	整式の除法	30~33	
前)		剰余の定理と因数定理		
	6	高次方程式	高次方程式	34~41	
	0	式と証明	等式の証明		
	7	点と座標	直線上の点の座標と内分・外分	44~52	
	,		平面上の点の座標と内分・外分		
期	8	直線の方程式	直線の方程式	54~61	
	U		2直線の関係		
	9	円の方程式	円の方程式	64~69	
			円と直線の関係		
	10	不等式の表す領域	円で分けられる領域 / 直線で分けられる領域	72~77	
	10		連立不等式の表す領域		
	11	三角関数	一般角 / 三角関数	82~87	
	**		三角関数の相互関係		
	12	三角関数	三角関数の性質	88~94	
	± -		三角関数のグラフ		

前/後 回 課題内容 締切日 主式の乗法 因数分解 二項定理 分数式 複素数 2次方程式 解と係数の関係 整式の除法 剰余の定理と因数定理 高次方程式 等式の証明 4 平面上の点の座標と内分・外方直線の方程式 直線の関係 円の方程式/円と直線の関係 円で分けられる領域 直線で分けられる領域 直線で分けられる領域 連立不等式の表す領域 一般角/三角関数の相互関係 三角関数の相互関係 三角関数の性質			レポート					
1 整式の乗法 因数分解 二項定理 分数式 複素数 2次方程式 解と係数の関係 整式の除法 剰余の定理と因数定理 高次方程式 等式の証明 4 一般の方程式/円と直線の関係 円で分けられる領域 直線で分けられる領域 連立不等式の表す領域 一般角/三角関数の相互関係								
1 因数分解 二項定理 分数式 複素数 2次方程式 解と係数の関係 整式の除法	前/後	ㅁ	課題 内容	締切日				
1			整式の乗法					
 1		1	因数分解					
複素数 2次方程式 解と係数の関係 5/9		1	二項定理					
引 2 2次方程式 解と係数の関係 5/9 整式の除法 剰余の定理と因数定理 高次方程式 等式の証明 ● 本のにの座標と内分・外ケ 直線の方程式 2直線の関係 6/6 後 円の方程式 / 円と直線の関係 円で分けられる領域 直線で分けられる領域 連立不等式の表す領域 6/6 一般角 / 三角関数 三角関数の相互関係			分数式					
2 2次方程式 解と係数の関係 5/9 整式の除法 剰余の定理と因数定理 高次方程式 等式の証明 サインボンを使じてカラックに 等式の証明 4 平面上の点の座標と内分・外名直線の方程式 直線の方程式 2直線の関係 10 その方程式/円と直線の関係 円で分けられる領域 直線で分けられる領域 連立不等式の表す領域 6/6 中般角/三角関数 三角関数の相互関係 10	前		複素数					
半 歴式の除法 割余の定理と因数定理 高次方程式 等式の証明 4 平面上の点の座標と内分・外ケ直線の方程式 直線の方程式 2直線の関係 円で分けられる領域 直線で分けられる領域 連立不等式の表す領域 一般角/三角関数 三角関数の相互関係	נינו	2	2次方程式	5/0				
整式の除法 剰余の定理と因数定理 高次方程式 等式の証明 4 平面上の点の座標と内分・外ケ直線の方程式 直線の関係 円の方程式 / 円と直線の関係 円で分けられる領域 直線で分けられる領域 連立不等式の表す領域 一般角 / 三角関数 三角関数の相互関係	MZ	2	解と係数の関係	3/9				
3 剰余の定理と因数定理 高次方程式 等式の証明 日本	#							
 高次方程式 等式の証明 4 平面上の点の座標と内分・外ケ直線の方程式 2直線の関係 円の方程式/円と直線の関係 円で分けられる領域直線で分けられる領域連立不等式の表す領域 一般角/三角関数 三角関数の相互関係 			整式の除法					
高次方程式 等式の証明 4 平面上の点の座標と内分・外ケ 直線の方程式 2直線の関係 円の方程式 / 円と直線の関係 円で分けられる領域 直線で分けられる領域 連立不等式の表す領域 一般角 / 三角関数 三角関数の相互関係		1	剰余の定理と因数定理					
4 平面上の点の座標と内分・外名 直線の方程式 2直線の関係 円の方程式 / 円と直線の関係 円で分けられる領域 直線で分けられる領域 連立不等式の表す領域 一般角 / 三角関数 三角関数の相互関係		3	高次方程式					
4 日本 中面上の点の座標と内分・外を直線の方程式 2直線の関係 円の方程式 / 円と直線の関係 円で分けられる領域 直線で分けられる領域 連立不等式の表す領域 ー般角 / 三角関数 三角関数の相互関係 6 日本			等式の証明					
後 日本 直線の方程式 2直線の関係 日本 日の方程式 / 円と直線の関係 円で分けられる領域 直線で分けられる領域 直線で分けられる領域 連立不等式の表す領域 一般角 / 三角関数 三角関数の相互関係			ロルエンボン/王/示CP3/ファイ					
直線の方程式 2直線の関係 円の方程式 / 円と直線の関係 円で分けられる領域 直線で分けられる領域 連立不等式の表す領域 一般角 / 三角関数 三角関数の相互関係		4	平面上の点の座標と内分・外分					
後		4	直線の方程式					
7			2直線の関係					
5 円で分けられる領域 直線で分けられる領域 連立不等式の表す領域 一般角 / 三角関数 三角関数の相互関係	쏟		円の方程式 / 円と直線の関係					
当 直線で分けられる領域 連立不等式の表す領域 一般角 / 三角関数 三角関数の相互関係	152	_	円で分けられる領域	616				
連立不等式の表す領域 一般角 / 三角関数 三角関数の相互関係	.1 4	5	直線で分けられる領域	0/0				
三角関数の相互関係	半		連立不等式の表す領域					
1 6			一般角 / 三角関数					
三角関数の性質		c	三角関数の相互関係					
i <u>L</u>		O	三角関数の性質					
三角関数のグラフ			三角関数のグラフ					

2024年度 学習指導計画表

長尾谷高等学校

〔科目名: 数学Ⅲa 〕〔単位数:2単位〕〔 使 用 教 科 書 : 〕〔 使 用 副 読 本 : 〕

学	授業回	項目	教 科 書		副読本	
期	12条凹	-	内容	ページ	ページ	前。
	1	第1章 複素数平面	複素数平面 複素数の極形式			
	1		ド・モアブルの定理 複素数と図形			
	2	第2章 式と曲線①	放物線・楕円・双曲線 2次曲線の平行			
			2次曲線と直線			
	3	第2章 式と曲線②	曲線の媒介変数表示 極座標と極方程式			
			コンピュータの利用			"
	4	第3章 関数	分数関数 無理関数			<u>></u>
			逆関数と合成関数			
前	5	第4章 極限①	数列の極限 無限等比数列			
月リ			無限級数			
	6	第4章極限②	関数の極限 三角関数と極限			
			関数の連続性			
	7					
期	8					
	9					1
	10					<u> </u>
	11					
	12					

	,						
レポート							
前/後		課題内容	締切日				
	1	複素数平面・複素数の極 ド・モアブルの定理 複素数と図形					
前半	2	2 次曲線 ► 放物線・楕円・双曲線 ► 2 次曲線の平行移動 ► 2 次曲線と直線	5/9				
	3	媒介変数表示と極座 ▶曲線の媒介変数表示 ▶極座標と極方程式					
	4	・分数関数 ・無理関数 ・逆関数と合成関数					
後半	5	・数列の極限 ・無限等比数列 ・無限級数	6/6				
	6	・関数の極限 ・三角関数と極限 ・関数の連続性					

2024年度 学 習 指 導 計 画 表

長尾谷高等学校

締切日

5/9

6/6

〔 科目名 : 数学 I 演習 〕 使用教科書 : 高校数学 I (実教出版)] 〔担当者 : 山村 浩 〕 〔 2 単位 〕

学	授業	項目	教 科 書		副読本	レポート		
期	回数	均 日 	内 容	ヾ゚゙゙゙゙゙゙゙゚゙゙゙゙゙゚゚゙゙゙゙゙゙゙゚゚	へ。一ジ [*]	前後	回目	課 題 内 容
	1	1章 数と式 1 1節 整式	文字を使った式のきまり、整式、整式の加法・ 減法、整式の乗法	10~21				文字を使った式のきまり、整式、 整式の加法・減法 整式の乗法、乗法公式による展開
	2	2節 実数	乗法公式による展開 因数分解	22~30			1	因数分解
	3	3節 方程式と不等式	平方根とその計算、実数、1 次方程式	32~43		前半	7半 2	平方根とその計算、実数、1次方程式、不等式、不等式、不等式の性質、1
	4	3節 方程式と不等式	不等式、不等式の性質、1次不等式、連立不等 式、不等式の利用	44~51				次不等式、連立不等式、不等式の利用
	5	2章2次関数1節関数とグラフ	1 次関数とそのグラフ、2 次関数とそのグラフ、 2 次関数の最大値・最小値	56~78				1次関数とそのグラフ、2次関数とそのグラフ、2次関数の最大
前		化	2 次関数のグラフと 2 次方程式、2 次関数のグラフと 2 次不等式	79~86			3	値・最小値、2次関数のグラフと 2次方程式、2次関数のグラフと 2次不等式
期	7	3章 三角比 1節 三角比	三角形、三角比、三角比の利用三角比の相互関係、三角比の拡張	90~ 106			4	三角形、三角比、三角比の利用 三角比の相互関係、三角比の拡張 三角比の面積、正弦定理、余弦定
	8	2節 三角比の応用	三角比の面積、正弦定理、余弦定理、正弦定理 と余弦定理の利用	107~ 115				理、正弦定理と余弦定理の利用
	9	集合と論証	集合と要素、命題、いろいろな証明法	120~ 129		後半	5	集合と要素、命題、いろいろな証明法、
	10	データの分析	統計とグラフ、度数分布表とヒストグラム、代表値	134~ 141		後十	υ	
	11	データの分析	データの散らばり、外れ値、相関関係、仮説検 定の考え	142~ 153			6	統計とグラフ、度数分布表とヒストグラム、代表値、データの散らばり、外れ値、相関関係、仮説検
	12	まとめ					ь	定の考え